

第 11 回(平成 28 年度第 5 回) 環境振動予測解析小委員会議事録

A. 日時 2016 年 12 月 20 日(火) 17:30~19:30

B. 場所 (一社)日本建築学会 建築会館 303 会議室

C. 出席者(敬称略) 主査 他 7 名

D. 提出資料

No.11-0 環境振動予測解析小委員会(第 11 回) 議題

No.11-1 第 10 回(平成 28 年度第 4 回) 環境振動予測解析小委員会 議事録(案)

No.11-2-1 環境振動運営委員会 2016 年度第 4 回 議事録(案)

No.11-2-2 環境振動予測解析小委員会 活動報告(案)

No.11-2-3 環境振動運営委員会での本小委員会への指摘に対して

No.11-2-4 設計の観点から見た評価指針と設計指針の全体の枠組み

No.11-2-5 2016 年度 小委員会活動成果報告

No.11-3-1 測定データの分析項目

No.11-3-2 大学 10 号館等測定結果

No.11-3-3 ブラインド解析対象室の測定結果

No.11-3-4 再計測結果について

No.11-3-5 ブラインド解析

No.11-4-1、No.11-4-1 追 ブラインド解析(事例 1) モデル質量

No.11-4-2 ブラインド解析(事例 1)のアクセランスの追加検討

No.11-4-3 ブラインド解析

No.11-4-4 ブラインド解析(事例 1) 再検討結果

E. 審議事項

1. 前回議事録: No.11-1 承認された。

2. 環境振動運営委員会より: No.11-2-1~No.11-2-4

・主査より、12/5 に開催された運営委員会での内容について説明があった。

3. ブラインド解析・実測・検討について: No.11-3-1~No.11-4-4

・大学 10 号館で実測した結果について、資料をもとに説明があり、各委員の疑問点などについて意見交換を行った。

⇒アクセランスが 1 次振動数付近で 2 山に割れている原因について、来年 4 月以降に解析対象室でモーダル解析用の測定を実施することも考える

⇒運営委員会からの指摘事項である新しい指針との対応については、1/27 開催予定の環境振動シンポジウムの内容を踏まえることとするが、現在進めている事例 1~3 の作成に関しては、以下の観点で議論、取りまとめを分担して進めることとする。

【観点】歩行加振力(歩行者による応答値)のバラツキ、床のモデル化手法について、海外の Design Guide、過去の環境振動シンポジウム資料、性能設計ハンドブック等を参照してまとめる。

4. 次回の議題、宿題

・事例 1~3 (歩行、上下階、地盤からの床振動) のまとめ、測定・解析計画

F. 次回 2017 年 2 月 21 日(火)17:30~ 建築会館会議室

以上